



会津医療センターから こんにちは！



【36】

患者支援センター
看護師長 大島 光

『医療と地域をつなぐ』

「患者支援センターって、どんな支援をしてくれるところなの？」玄関の左側に真っ白なカウンターがあります。そこが患者支援センターです。医師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、相談員等が配置されており、それぞれの専門性を生かし、大きく5つの業務を行っています。

1つ目は地域医療連携業務です。紹介状を持って受診される方や治療に一区切りがつき、紹介元や近隣の診療所などに逆紹介される方について、受診予約や今後の治療に関する連携などを患者さんの緊急度に応じて対応しています。セカンドオピニオンの相談も受け付けております。

2つ目は通院患者さんの支援です。社会保障制度や受診に関する相談などの際、声を掛けやすいよう常にカウンターにスタッフを配置しています。受診される方の中にはいつも「おはよう、終わったから帰るよ」など声をかけてくださる患者さんもいらっしゃいます。

3つ目は入院患者さんの退院後の生活支援や退院・転院などの調整です。ケアマネジャーとの連携、退院先の調整など、安心して地域で暮らしていけるよう支援しています。患者さんの「困った！」を一つでも解消できるよう総力を挙げて対応しています。

4つ目は、専門的なケアを提供する認定看護師による外来です。例えば、糖尿病を患う方の生活上の注意点、がんと診断された患者さんの疑問や心配ごとに専門の知識を持った認定看護師5人が対応します。ほかには、最近飲み込む力が弱ってきたと感じる方、認知症の家族のことで悩んでいる方、床ずれができて困っている方などの相談も受けています。一人で悩まず、まずはご相談ください。

最後に、患者さんばかりでなく、地域の方へ向けた健康教室も毎月行っております。今後は3密を避けた新しい生活様式を取り入れて開催する予定です。これからも患者さんに寄り添い、安心して治療を受けながら生活できるように、病院と地域をつなぐ役目を担っていきたくて考えております。